※令和３年度以前入学生用

学校番号	2004

令和４年度　（専）美術科

教科	（専）美術	科目	素描	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシートプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

対象の存在感や画面の空間感を描画する造形表現の基礎となる観察力と描写力を高めます。

①デッサン　対象の客観的な観察を通して形体の構造を理解し、形体を正確に描画する態度を身につける。
そして形体の色彩や材質感などの表し方を工夫し表現する能力を高める。

②スケッチ　対象の形体や空間、人物のある動作の一瞬の形態のよさや美しさを端的に把握し、おおまかに素早く描画するクロッキーなどに取り組む。

③表現材料　主に鉛筆を使用するが、他にコンテ、木炭、墨液等も取り扱う。表現効果を高めるために、用いる材料や用具についての特性を理解し、自分の表現技法を体得できるようにする。

④鑑賞　生徒作品や作家作品を取り上げ、それぞれの主題と表現意図、形体や色彩、材質感などの描き方表し方の工夫や表現材料の活用、効果などについて考察する。

2　学習の到達目標

対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	素描を通して、美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな、表現の構想を練っている。	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。	美術作品文化遺産、美術文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。
評価方法	学習状況の観察 完成作品	制作途中作品、 完成作品、 ワークプリント	完成作品、 ワークプリント	発表の内容、 ワークプリント

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	鉛筆デッサン基礎	・石膏基本形１ ・石膏基本形２	○		○		a：鉛筆の基礎技法に興味・関心を持ち、対象の形体の構造を端的に把握できる。 b： c：鉛筆の濃淡や、グラデーションなどの基礎技法を生かして描画しようとしている。 d：	学習状況の観察 完成作品
	鉛筆デッサン素材別	・ガラス瓶 ・紙コップ ・軍手 ・筆洗バケツ ・作品鑑賞	○	○	○		a：客観的に対象の形体構造を観察把握できる。 b：形や色、材質感などの表し方を工夫し表現することに関心をもてる。 c：形体や色彩、材質感などの表し方で鉛筆の濃淡によるタッチで、よりよい表現を工夫追及している。 d：他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わえる。	学習状況の観察 完成作品 ワークプリント
	夏季休暇課題	高校展の作品	○			○	a：他者の表現に興味を持ち、主体的に鑑賞の創造活動に取り組める。 b： c： d：高校生の表現や工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	鑑賞ﾚﾎﾟｰﾄ

※令和３年度以前入学生用

2学期	鉛筆デッサン素材別	・電球 ・本 ・その他 ・作品鑑賞	○	○	○	○	a: 客観的に対象の形体構造を観察把握できる。 b: 形や色、材質感などの表し方を工夫し表現することに関心をもてる。 c: 形体や色彩、材質感などの表し方で鉛筆の濃淡によるタッチで、よりよい表現を工夫追及している。 d: 他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わえる。	学習状況の観察 完成作品 ワークプリント
	様々な描画材でデッサン	・コンテデッサン ・木炭デッサン 等 ・作品鑑賞	○	○		○	a: これまでに習得した内容や、さまざまな材料や用具についての特性に興味を持っている。 b: モチーフの特徴や状態に応じて適当な描画材料や技法を選択する c: d: 他者の表現に興味を持ち、客観的事実を基に合理的評価が出来る。	学習状況の観察 完成作品 発表の内容
3学期	クロッキーデッサン	・人物クロッキー ・作品鑑賞	○	○		○	a: これまでに習得した内容や、さまざまな材料や用具についての特性に興味を持っている。 b: モチーフの特徴や状態に応じて適当な描画材料や技法を選択する c: d: 他者の表現に興味を持ち、客観的事実を基に合理的評価が出来る。	学習状況の観察 完成作品 発表の内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※令和３年度以前入学生用